



花火うつろひ
横を見れば
汝ねと鈴蘭
咲き匂ふ



春の宵に

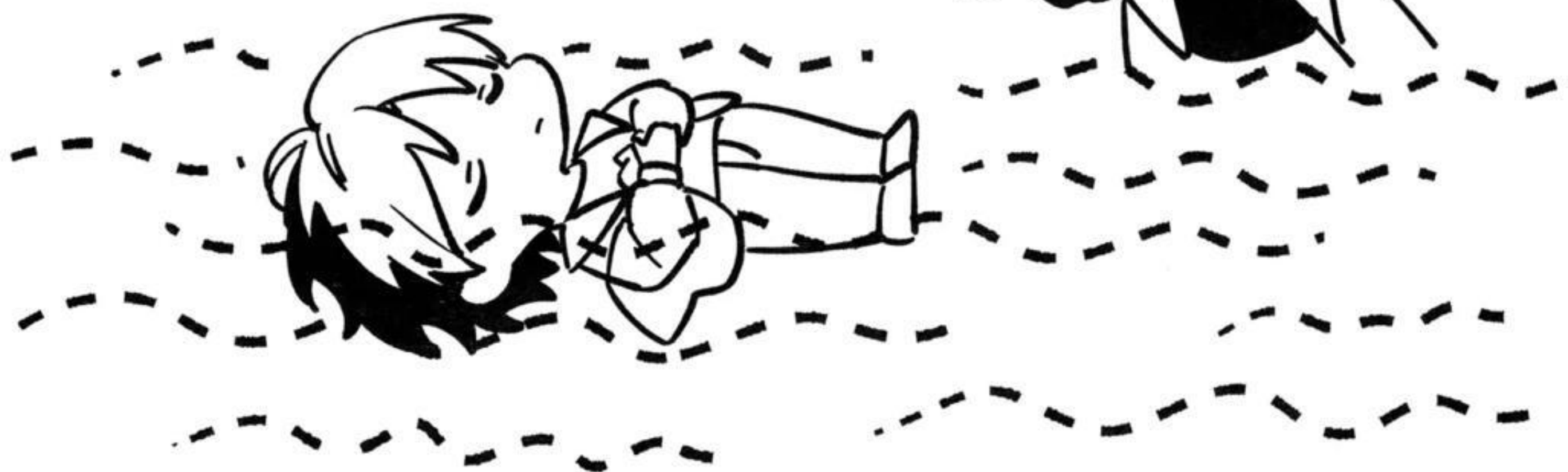
散る花

前編





進藤!!







同世代の女性との
交際方法を
教えてほしい



キミ
意外に鋭いね
なら直接聞くよ



.....



実は芦原さんに
親戚の子を紹介されて..
せめて一回ぐらい
デートしてあげてと
言われてね

ボクはそういうタイプの
女性との交流は
ほとんどないから
兄弟子にも聞き辛い

キミは昔から
交流関係が広いからね
だから聞きたいんだ



なに？

麺が不味くなる
冗談はやめろよ

冗談は
言っていない

キミが
そういう反応すると
言いたくなくなるんだが



？

いや…
別に興味ない
訳じゃないから
ここにいるん
じゃないか

少ししか
話してないけど
とても明るくて
話しやすい方だ



ふん…
そういうことか

……
おまえが興味ないなら
断つてもいいと
思うけど？



一回会っても
悪くないと思う



進藤？

……



…しょうがねエな
せつかくおまえが
頼んで来たんだから



オレに
いい考えがある

言葉より
行動した方が
勉強になるだろ



オレと交際の
練習してみねえ？
大サービスだ



お手本を
見せてやるよ



交際の練習を
手伝ってくれる進藤は
二つの要求を出した

一つは、練習期間は完全に
進藤を恋人として見ることに
「そうじゃないと意味ねえ」と

二つ目は
恋人の練習といっても
ボディータッチは無し
「男を触ると気持ち悪いだろう」と



進藤まだ来てない…
ボクが早すぎたかも



そして
デートの日が来た



塔矢！

ごめん
待った？
オレ
30分早く
来たんだけど



ト
#



…えなんだ
動悸が…



そうか？
結構気に入ってるけど

やっぱ相手が男だと
気合入らない？

女装して
来たら良かった？



なにイ？
ぼーっとしちゃって
挨拶してんだけど？

あついや…
キミの雰囲気が少し
違うなと思って…



キミらしさがあつて
格好良くて

とても魅力的
だと思うよ



違うんだ
そんなことない！
キミはこのままで
いいんだ

ガタッ



……



なんかすげー
恥ずかしいけど…
ありがとーな

おまえも
今日めちやくちや
カツコイイぜ

あ
いや…

毎日と言っていいほど
進藤と会ってるのに

今日は
いつもと違う
みたいだ



温かい
覚えてたんだ
…なんか

本物の
デートみたいだ



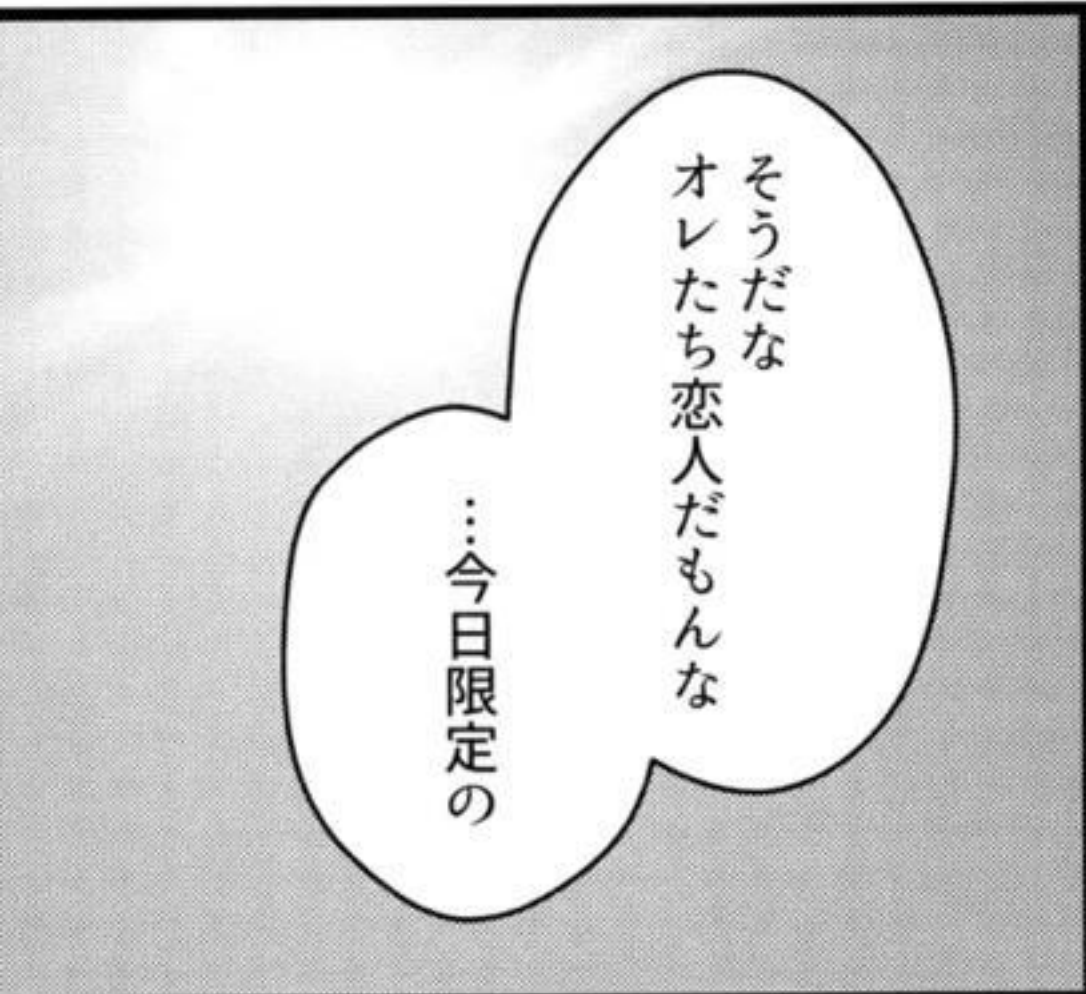
これ
もしかして
オレの分？

少し照れくさい
だが、嫌じゃない

そうだよ
キミ苦いのが
嫌いだから
ラテにした

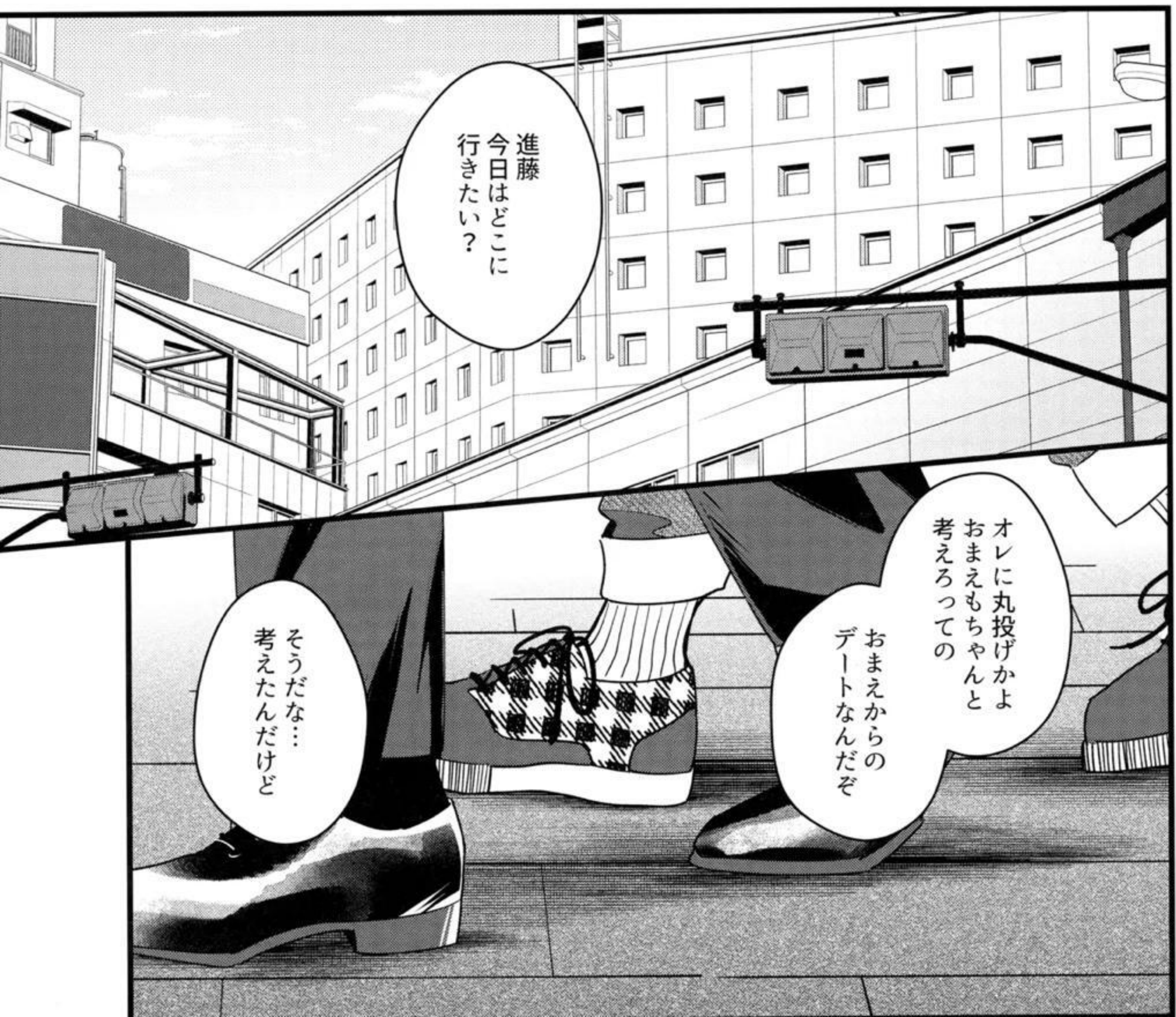


本物のデートだよ
キミが
言ったんじゃないか



そうだな
オレたち恋人だもんな

…今日限定の



進藤
今日はどこに
行きたい？

オレに丸投げかよ
おまえもちゃんと
考えろっての

おまえからの
デートなんだぞ

そうだな…
考えたんだけど



どうやらボクは
キミを見るだけで

どこに行っても
退屈しないような
気がする

だからキミの
行きたい場所
がいいと思う



言うのは
オレだけにしろよ

…だったら
そのセリフ



…おまえ
どこでその口説き方
覚えたんだ？

練習なんて
いらなくねエ？
解散するか

口説き方？
ボクはただ
思ったことを
言っただけだ



進藤？
何言った…

進藤？
おまえ
進藤じゃねえか！

坂本！
久しぶり！
中学以来だな



オレは…

おまえは？
暮の仕事？
そっちは連れ？

見りやわかるだろ
彼女とデートだよ
デート



本当に久しぶりだ
おまえ随分イケメンに
なったじゃねエか

ハハ
おまえほど
じゃねえよ
彼女さんも
美人だな

ここで
何してんの？



…オレも
彼氏と
デートしてるぜ



マジかよWW
めちやくちやイケメン
じゃねえか！
おまえやるな！

だろー！
オレたち
ラブラブだぜW

ドキ
ドキ

羨ましいW
じゃオレはここで！
困暮も頑張れよ
応援してるからな



進藤
さっきのは…

……



また
鼓動が…



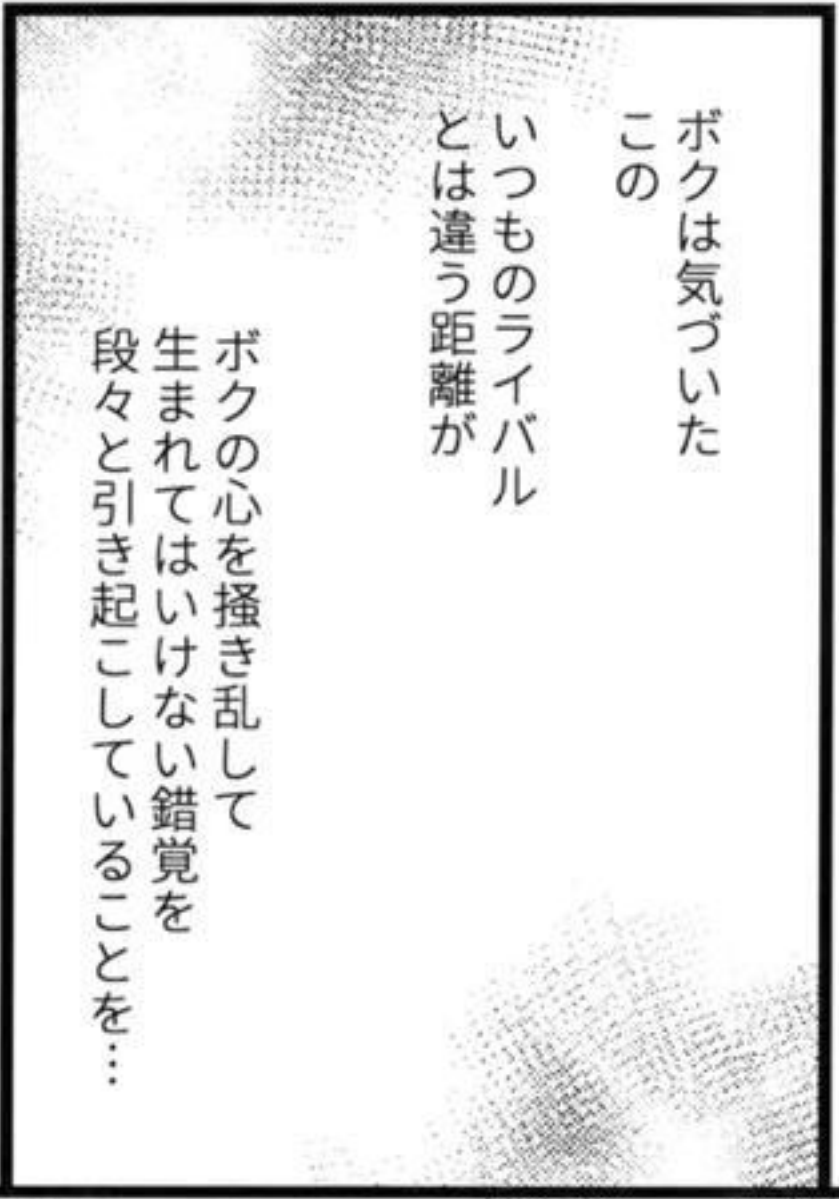
あオレの方は冗談としか
思われてねえから
大丈夫だからな

男二人を本気で
カップルなんて
思うやついねえし



きまづい雰囲気にならなくて
よかっただろ
これも練習だよ

でもとっさにしちゃ
お前の対応もよかったぜ
本番でも女の子に
さっきみたいに伝えてやれよな
間違っても否定なんかするなよ



はあ…

そうじゃない
ボクはそんなことを
気にしてるんじゃない

ボクは気づいた
この

いつものライバル
とは違う距離が

ボクの心を掻き乱して
生まれてはいけない錯覚を
段々と引き起こしていることを…





本当？
オレが相手なんて
嫌だと思っただけ



くーっ
楽しかったなー！
塔矢は？

楽しいよ
もちろん

やっぱりキミと
一緒にいると
飽きないね



そんなことないよ
むしろ感謝してる

この調子なら
本番もいけそうだね



…そうだな
それはよかったよ

オレ飲み物買ってくる
おまえ
ウーロン茶でいい？

ああ…
ありがとう



ね…！
やばくない？
あそこのイケメン二人

やばい
髪が長い方好み…



金髪の方は
絶対ノってくる
私の勝ちね

うわひど
でも被らなくていいか

でもなんか
堅苦しそうじゃん
童貞くさ

私はいかにも
遊んでそうなの
金髪がいい

はあ...



そうなのか?
進藤は...

何も考えずに頼んだが...
確かに今日二日
慣れた様子だった



あ、来た来た
声かけに行こ



ただいまー
ほらよ

あ

...おかえり

なんだよその顔
オバケでも見た?



へー
そういうことか



進藤
随分細いな

簡単に腕の中に
収まるような…

では
失礼…



塔矢
オレの肩抱いて

え？でも
ボディータッチは…

いいから早く



んいいぜ
じゃあ顔近づけて

え…っ

これは…

オツケー
そのまま動くなよ

ドキ



顔が熱いせいで溶けそうな
くりくりの瞳
柔らかかそうな桜色の唇

こんなに近くで見ると
全てが愛しくて仕方ない
心臓が破裂しそうだ



キモイのわかってるけど
ちよっと我慢しろよな

ずっと進藤を見てたのに
可愛いと知っていたのに

バクニ
バクニ

「金髪の方は
絶対ノってくる」

え…

よし！
もういいだろ

もしデート中
こんな事があつたら
お前も…

クッ

魔が差した
考える前に身体が動いた

ちよっ…
マジ…？

あー
なんだよ
そういうこと

ガ
オ
ツ



うっせーなア
オレが決めるの！

でも
さつきは
キミから…



ストップ!!

ボディータッチは
なしって言ったろ！
そこまでする必要ねえってば！



おまえはすぐ
衝動に駆られて
暴走するから

こういう雰囲気
に
惑わされるなよ



初めては
好きな人とするんだな
じゃないと後悔するぜ

キミはもう…
経験したのか？



さつきまでまだ雲の上に
飛んでた心が
急に凍ってしまった



…それはもちろん
おまえよりは経験済みだし？
でなきゃ偉そうに手本とか
言えねエだろ

だからオレの話は
ちゃんと聞けよな
約束！

進藤はとても魅力的な人だ
彼が恋人のふりをしてくれたら
錯覚を起こさない人は
いないだろう

だからこの偽りの関係の中
お互いに持っていないはずの
恋心がまるで本物のように思えた

悪いのは
錯覚から下心を生み出したボクだ

好きなわけじゃないのに
進藤にはちゃんとした相手が
いるかもしれないのに

ボクは「恋人」の仮象に魅入られて
進藤の気持ちを無視し
傷つけるところだったー！。

とーや

塔矢ってば！

…ごめん
聞いてなかった
どうした？

だから
さっき買い物の時
いい話を聞いたってやつ

知りたいなら
夕食奢れよ



いいよ
何食べたい？

女の子なら
高級レストラン
だけどさア

オレは
美味しいラーメンが
いいぜ！









そんなに
好きなんだ
花火



こんな季節に
花火…？

いいだろ
何かイベントが
あるらしい

ラッキーのレベル
じゃねエ
奇跡じゃん



好きだぜ

火がついたらもう止まらない
あつという間に花開いて
燃え尽きて消えちまう



忘れる…？

オレは…



きれいだけど
悲しい

…忘れられない

パニ



大好きなんだ



花火より美しくて
またどこが寂しさを
滲ませてるような笑顔

それはボクの知らない
ボクのものでもない
進藤ヒカルだ



そうだね
とても綺麗だ

ボク以外の誰かに
この笑顔を見せたなんて
考えるだけで背筋が凍る
胸が痛くて仕方ない



うるせー
ほっとけ

キミが
薄着をするから
春とはいえ
夜はまだ寒い



ハッ!



ほら



…なア
塔矢



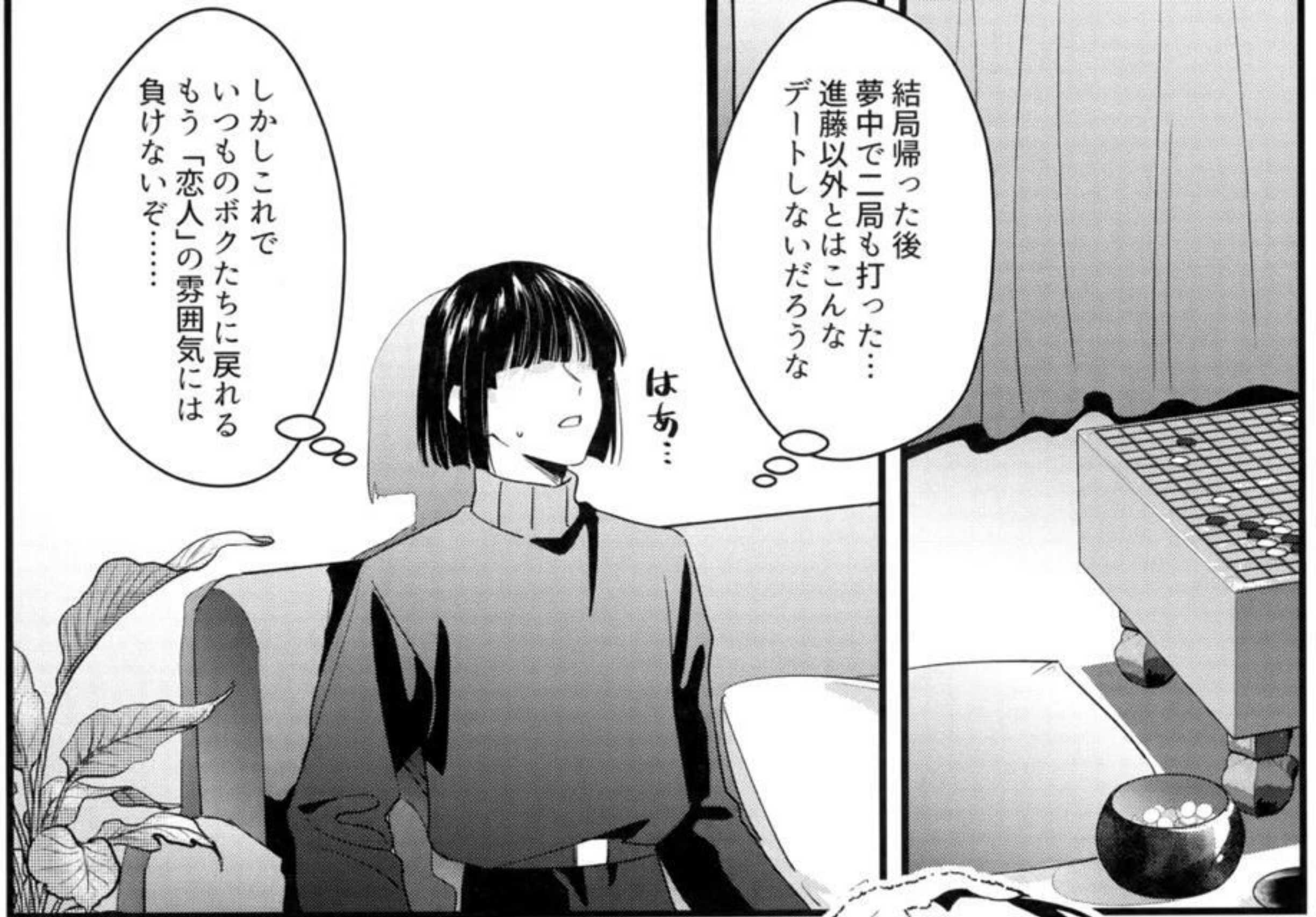
キミはもっと健康管理を
しっかりとするべきだ
風邪を引いたらボクが困る



もしデートの
最後に…

「今夜は
帰りたくない」
…って言われたら
おまえは
どうするべきだと思う？





結局帰った後
夢中で二局も打った：
進藤以外とはこんな
デートしないだろうな

はあ…

しかしこれで
いつものボクたちに戻れる
もう「恋人」の雰囲気には
負けないぞ……



塔矢く
お風呂
空いたぜ

パジャマまで
貸してくれて
ありがとな

ドキ



なぜこんなにも
感情が
掻き乱されてる

今日一日おかしかった
恋人としての進藤が
ライバルのキミとそんなに
違ってるのか？



なにやっつてんだ

負けた...!!

理由はどうあれ
こんな目で進藤を
見るのは失礼すぎる
どうにかしないと...



おまえ：
まさか恋人を
連れ込んだ時

ソファで
寝るなんて
言わねえよな



おまえ
ソファで寝る
つもりなの？

そうだよ
客をここで寝かすの
失礼だろ





とても熱くて
体が燃えそうな温度

進藤の呼吸が聞こえる

進藤の匂いが
進藤の体温が伝わって来る

いやこれは
ボク自身の体温だ



ボクと
別れてくれ

進藤
キミが帰る前に
最後の練習に
付き合っ
て欲しい



…なにそれ
そこまで練習
しなくても
いいじゃん？



…そうかも
知れない



オレだけ…？
オレだけはダメ…
ってこと？



キミが
大切だから

そうだけど
キミだけには…
ちゃんと言いたいから

本当に
申し訳ないが

キミがそばにいることに
生理的に耐えられない

だから
別れたんだ

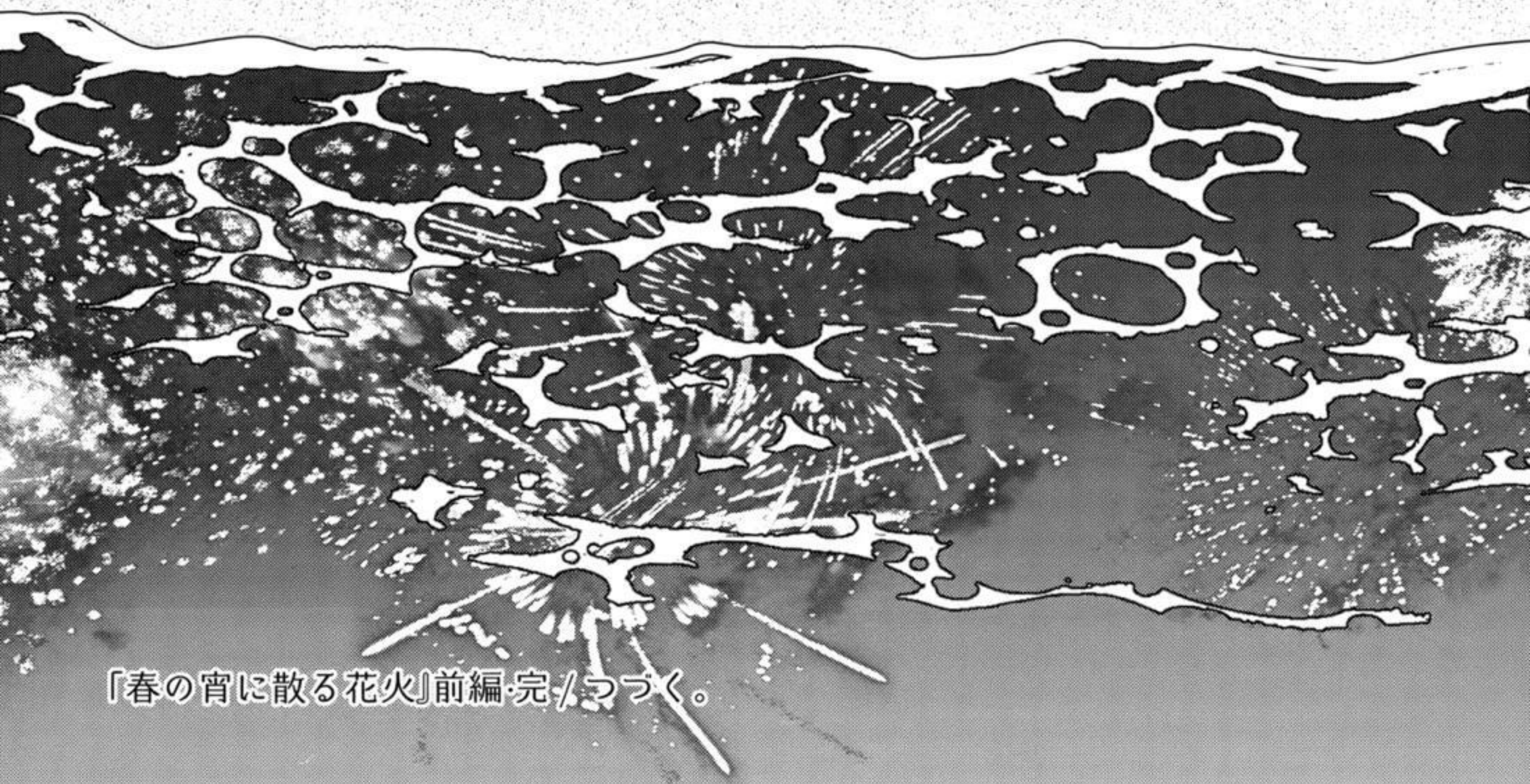
キミはボクの
一番大切な
ライバルであり友達だ

オレだけは
生理的にむり……

ボクから頼んだ
ことなのに……

本当にすまなかった
進藤

この錯覚による
穢らわしい思い
早く断ち切るべきだ



「春の宵に散る花火」前編・完／つづく。

春の宵に花火
散る 前編



ご感想
お待ちしております！

発行
発行人

2021.12.12
n.S.k.k / 魂





夏に
夜半の
咲く鈴蘭
後編



始まりは、塔矢のその一言だった。
なんでオレに？と思ったんだけど
ああ、そっか
コイツはオレしか
頼む相手がいないからだ。
だったら、仕方ねエな…



これは塔矢のため：
大切なライバルのためだ

オレは自分に言い訳をした。



「デート」は何もかも順調だった
正直に言えば
オレもそこまで楽しいとは
予想してなかった
これがオレと塔矢のデート…
そう思った時
その言葉が飛んできた

この調子なら
本番もいけそうだね

そうだよな
なに自分で盛り上がってるんだ
これは「デート」じゃねえんだ
オレと塔矢は ただのライバルだ
それ以上のことはないし
これから先も変わらない



そんなことしたら
きっと後悔するよ

おまえも …オレも



大好きなんだ

全てが花火のように散るといい
元々何もないままでいい

だって

もうあんなに綺麗に咲いたから…

もう満足だよ

そう言いながら
最後まで塔矢の優しさを
手放せなかったオレは
塔矢の家にまで入り込んだ

これはもう最後
最後だから…

少しわがまま言っても
大丈夫だよな？



おまえ…
まさか恋人を
連れ込んだ時

ソファで
寝るなんて
言わねえよな



ヒカルヒカル
今日も碁会所
行くんですか？

今日は行かねえ
オレだって疲れる日
あるんだよ

大体おまえは…

オレすぐ調子乗るから
罰が当たったんだろう
だから
塔矢にああ言われたのも
自業自得だ

……。



オレはもう12だぞ
子供じゃねえんだから

もー何するんだよ！
びっくりしたけど
そんなに激しく反応
しなくてもいいだろ



ヒカル！
見ちゃダメですっ

わっ



うう…
そこは反論
できないけど…

ヒカルは子供でしょう
恋も口付けもしたこと
ないじゃないですか

ヒカルは一度も
好きな人ができたこと
ないのでですか？

あかりちゃんのこととは
どう思うんです？



いねえよー
アイツはダメだな
しょっちゅう喧嘩してるし
趣味も全然合わねえ



くま

それはヒカルが
まだまだ子供だから
焦らずに
いずれは出会いますよ

喧嘩ばかりしても
趣味や習慣が全く違ってても
その人のことしか
考えられなくなるんです

毎日心弾む
ように楽しい
それが恋ですよ
ヒカル



：おまえみたいなの
頭の中囲碁しか
なさそうなのヤツが
そういうセリフを
言ってもなー

ヒカル
ひどいっ

なア佐為
オレ：





オレはもう
好きなヤツできたぜ

もう子供じゃねえぞ
すげえだろ

毎日喧嘩しても
アイツと碁以外のことで
気が合うもの一つもなくて
もうアイツのことが好きで
どうしようもねえんだ



…でもなんでだろ
全然楽しくねえんだよ


胸がこんなに痛くて
苦しくなるなんて

全然言っ
てなかつたじゃん
嘘つき…




キミがそばにいることに
生理的に耐えられない

だから
別れたんだ



どうしろって
言うんだよ…

こんな惨めな気持ちに
なるくらいなら…



恋なんて
しなきゃよかった





水族館

最初は水族館に行くの？
楽しみだね！

ええ

なんでだろう
進藤という時はどれも
楽しかったのに

今はどこに行っても
全然嬉しくない



無性に
進藤に会いたくなる



…や

塔矢ってば！



しん…い…い…い…





こんにちはは！
こっちは…

ちよつと待って

塔矢プロ!!

あ…

塔矢八段
じゃないか!



サインもらっていい?
うちの娘が塔矢プロの
大ファンなんだよ!

やっぱり…

先月の十段戦
惜しかった!
来月の名人戦も
応援するね!



騒がしくてごめんね
お嬢ちゃん
びっくりしたたる

いえ
全然大丈夫です!

素敵なお嬢さんだね
もしかして彼女さん?



はい!
須藤ひなといいます!

おやおや
若いっていいな
ハハハ

何を…

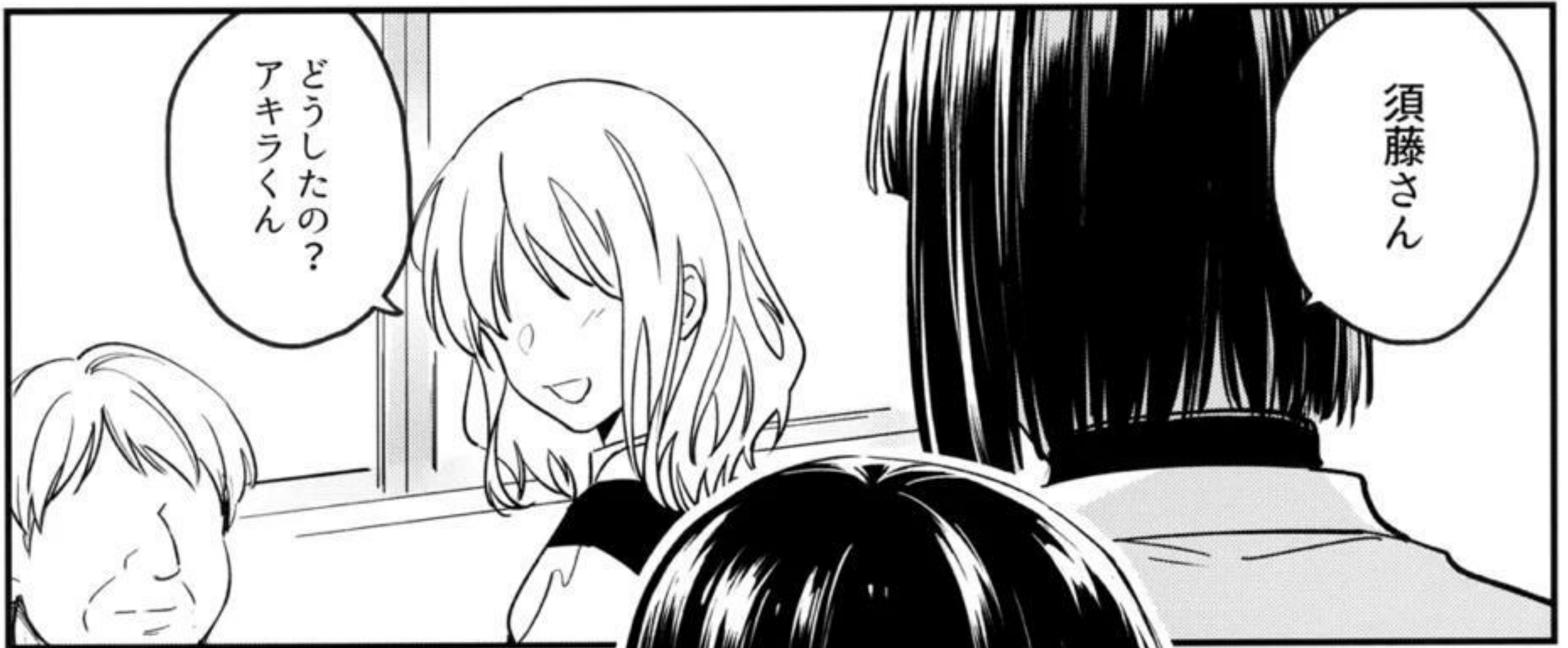


.....!



きまづい雰囲気にならなくて
よかっただろ
これも練習だよ

でもとっさにしちや
お前の対応もよかつたぜ
本番でも女の子に
さつきみたいに伝えてやれよな
間違っても否定なんかするなよ



須藤さん

どうしたの？
アキラくん



まだ少し早いけど
レストランに移動しませんか
そこで話したいことが
あるんです



頼むから
話を聞いてくれ

今更言っても
仕方がないと
分かってるけど

ボクは
キミのことが
好きだ……!

…今更、ねエ
恋愛ごっこも練習も
もうやらないって
おまえが言ったんだろ

練習じゃない
ボクは本気だ!

今まで気づか
なかつたんだ
キミが好きだ!

…さすが時代の寵児だな
そんなセリフまで言える
ようになったんだ?

オレなんか相手にしないで
直接本人に言ったらどうだ

かわいい彼女だつて聞いた
ひなさん……だっけ?
順風満帆じゃねえか
練習の効果バツチりだな

なぜキミは
そんなことまで…

別に知りたくて
知ったんじゃないよ
オレの行きつけの暮会所に
連れて行ってノロケたんだろ？
もう噂になってたぜ

まあオレには
関係ねえんだけど
おめでとな

ボクのこと軽蔑しても
かわまないから
それだけは…信じてくれ

違うんだ！
ボクと彼女は何もない

ボクは本当にキミの
ことが好きなんだ！

だめだ…
伝わってない

ボクの気持ち
ちっとも進藤に
届いてない

進藤
ボクは、

触んなって言ったろ!!
練習はもうやめるって
言ったのはおまえだ!

オレとは生理的に
無理だから
別れようって
言ったじゃねえか!!

違うっ
それは…

もうオレに近寄るな
おまえだって
気持ち悪くなるんだろ

すまない…
でも
ボクは…

バタ

黙れ
もう二度と
オレで練習するな

カハタ

進藤、

…ボクが
愚かだからだ

すまない…

進藤…

ああ
なぜボクは
一番大切にすべきキミを

こんなにも深く
傷つけてしまったんだろう

アキラ!
おまえ
ひなちゃんを
振ったって?

芦原さん…
その
ごめんなさい

いいからいいから
合わないなら仕方ない
恋は無理するもの
じゃないしな

それで？
原因は？

やっぱりあの子
おっちょこちょい
だから？

ううん…そうじゃない
須藤さんはなにも悪くないよ
とても素敵な女性だ
全部ボクのせいだ！

恥ずかしい話だけど
実はその前に
別の友達に頼んで
デートの練習を
したんだ

須藤さんとのデート中も
ずっとその友達のこと
頭がいっぱいで…
彼女に悪いと思って…


なんだよ〜
アキラはもう好きな人が
いるなら言ってくれよ〜
そうしたらひなちゃんを
紹介しないよ

え…
好きな人？

デート中でも
その子のことが
頭いっぱいなんだろう？
それは相当好きじゃん


水臭いなく
誰なのか
オレには教えるよ

塔矢



ボクが悪いんだ
進藤に惹かれていたことなんて
火を見るよりも明らかだったのに


それだけじゃない
あんなことまで言っ
て進藤を傷つけた…




進藤はもう
ボクの言葉を一切
信じてくれないだろうか

ボクはどうしたらいい

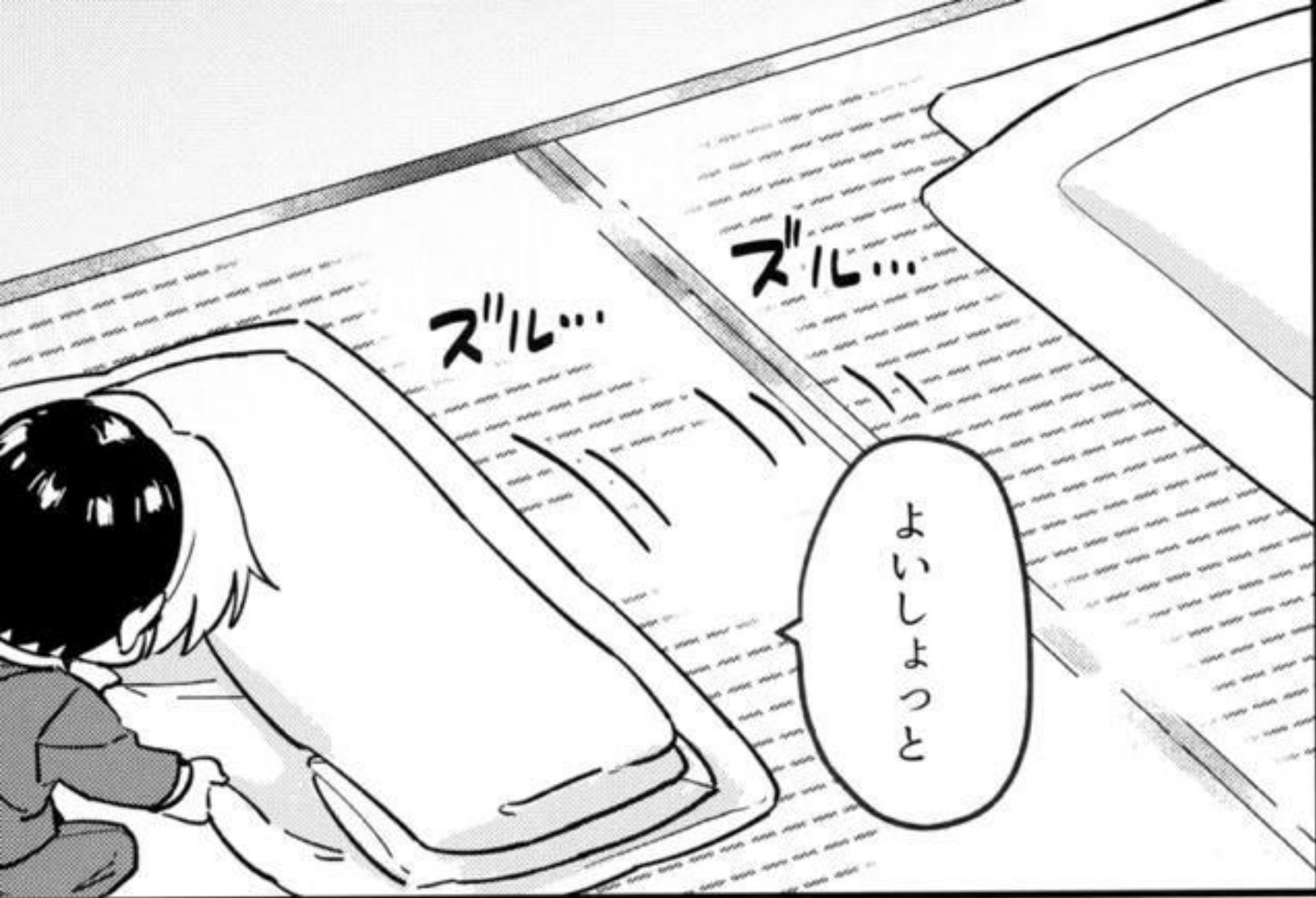
この先
彼に許してもらえる
チャンスはあるのだろうか



うわー
でけエ旅館だな









げーっ
なんで塔矢が通路に
立ってんだよっ
隣の美女は…女将さんか？



何かプレゼント
もらってるぞ

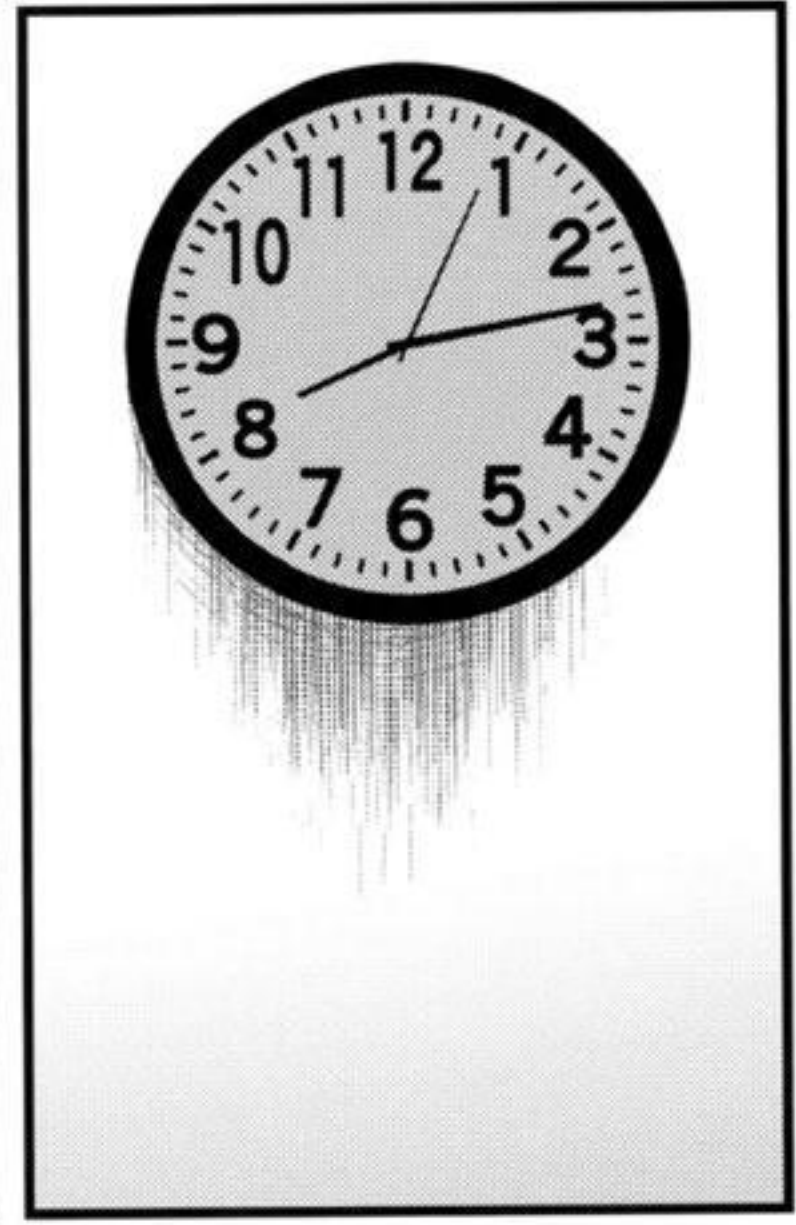


やけに嬉しそうに
鼻の下伸ばしてるけど



来たばかりで
美人女将と仲良し
さすが色男だ

オレには
関係ねエけど…
もう部屋に帰って来ない
ならちようどいいか



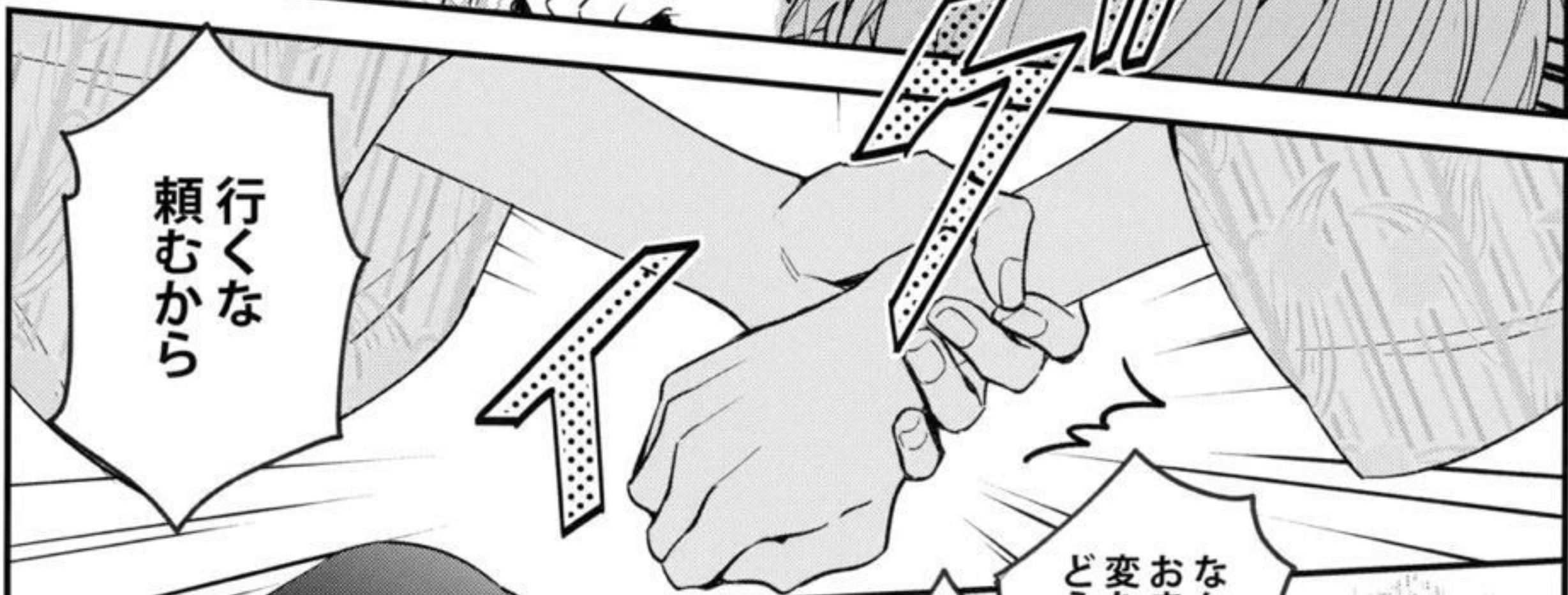


おまえ…



あ…
あ…













いや
やっぱり……
好きだな

……ありがとう



キミは言ったね
『あつという間に
花開いて燃え尽きて
消えちまう』

『きれいだけど
悲しい』って

……おまえ
本当に記憶力いいな



ボクはあれから
ずっと考えてた
そしてキミに
伝えたかった

花火は何度でも
美しく咲くんだけ
一つが散ってしまっても
すぐに次の花が開く
きつと永遠に



今年の花火が
終わっても
何度でもキミに
見せてあげる

それでも
寂しいと思う？



もう惑わされねえ
もうコイツのこと
なんか……

……一度とオレで
練習するなって
言っただろ

てか何
手握ってんだよ！
離せ！

離さない
キミはすぐ
逃げるから



逃げるもなにも
帰るから！

待て
花火はまだ……

知るか
手を離せ！

……ッ
そんなに暴れるな



何か落としたか？
ごめん…

いや
大丈夫



離せってば…

あっ



それより
進藤
これを見て

お守り？
それがどうした

このお守りは
キミを呼んでもらうよう
女将さんに頼んだ時
いただいたんだ



旅館名物のスズランの
お守りなんだって

好きな人に思いを
告げたいと相談したら
お守りと共に
この場所を覚えてくれた



それがなに？
またノロケ？

あの時の…



進藤
周りを見てごらん



すげえ...
スズランが
いっぱいだ

気づかなかった

スズランは6月までしか
咲かない花だけど
この庭では7月末まで
見られるんだって

だからここは
鈴園と呼ばれている

進藤
スズランの花言葉
知ってる？

…何だよ

「再び
幸せが訪れる」

ボクはどうしても
キミのあの笑顔が
もう一度見たいんだ

どんな花火
よりも美しい
ボクが見とれた
あの笑顔

身勝手は承知だ
だけどボクは……

キミが恋人として
隣にいてくれた
あの幸せに
もう一度触れたい

キミのことが
大好きだ
どうか信じてくれ

だったら
どうして……!



どうしてオレに
生理的に無理だなんて
言ったんだよ……!!
このクソヤローが!!



その…
咄嗟に言葉を
選べなかった
というか…
真実を知ったら
キミはきつと
引くよ…

ほら!
言い訳ばかり
やっぱ嘘じゃん



はー?
どんな誤解だ
言ってみろ

だから
それは誤解だ!
ボクがキミを気持ち悪い
なんて思うわけがない!

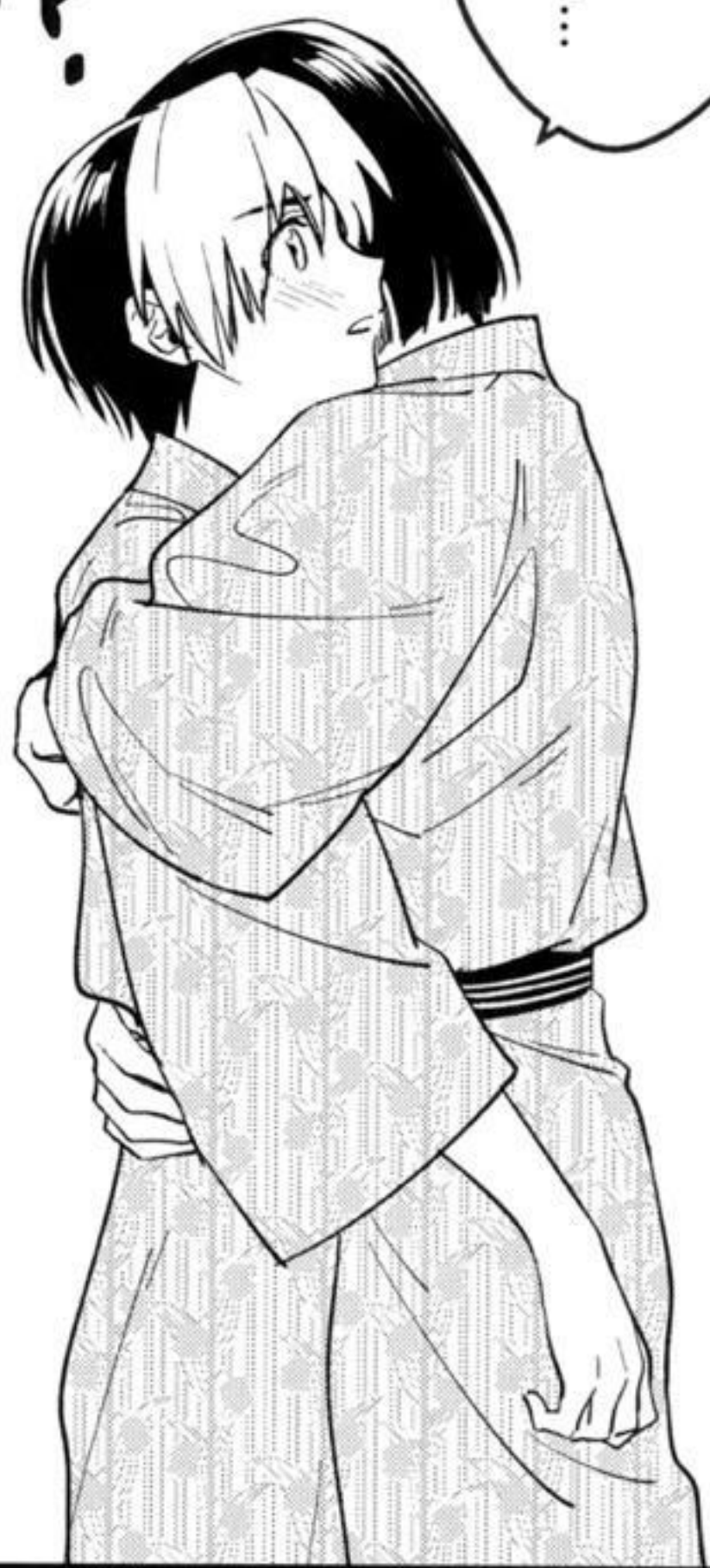


わかった
ちよつと失礼するよ

ギョッ

なんだ？
いきなり
くつついてきて…

？



え



はえー？



おまっ
どご当ててんだよ!!
ふざけんな!

キミがどうしても
信じてくれない
からだろう!

はあ!!
だからって話が
飛躍しすぎだろ

カア"ア"ア"ア"



飛躍なんてしてないさ！
キミが近くにいと
ボクはこうなるんだ！

キミと一緒に寝た夜
身体が熱くて堪らなくて
夜中に一人で惨めに
自分を慰めてたんだ！

え…
はあ…？

うそ…
信じらんねえ…

だから嫌だったんだ！
キミに幻滅されると思うと
こんなこと口が裂けても
言えなかった！

ライバルで友人の
キミに欲情するなんて
ボクはおかしくなって
しまったんだって…

そうりゃそうだろ！！
ヘンタイ！スケベ！
涼しい顔して
エロおっぱい！

髪型と関係
ないだろ

ボクはずっとこうして
キミを抱きしめたかった
恋人としてのキミは
余裕があつて
とても魅力的だった

だからこそキミへの気持ち
勘違いだと思つたんだ
一時的な錯覚だとしてもキミに
欲情するなんて申し訳なくて

うっそだア…
「生理的に耐え
られない」って…

塔矢がオレのこと…
そんなわけ…

でもそれこそ勘違いだった

ちやう

ボクはキミが好き
それだけでよかったんだ

……っ

進藤……あの時と
同じ瞳でボクを見てる……
キスしてもいい？

え……？
だっダメ……





…嬉しいよ
やっとなんかに好きな人と
キスができた

キミは初めて
じゃないかも
しれないけど

…初めてだ



え？

オレも…
初めてだってば！



オレには…余裕も魅力も
なにもねえよ
デートもキスも…
経験あるわけねえだろ

ずっと ずっと前から
おまえが好きだったんだ！
片思いしてたんだ！

そ
それって…



大好きなんだ

だから…
おまえの話を聞いて
チャンスだと思った

偽物でも
一度きりでもいい
おまえとの思い出を
作りたかった……

一生に一回の
花火みたいな恋が
したかった



…でも結局は
呆気なくおまえに
フラれたけど



すまない…進藤
本当にすまなかつた
こんなにキミを傷付けて
許されることじゃない

だけど
信じて欲しいんだ

ボクは本気で…
キミが好きだ
愛している

…しろよ

なに？
進藤…



もし
できたら、

許してやるよ

許されたいなら…
証明しろよ。
オレのこと…
生理的に…
無理じゃねえ…
てことを

進藤：
ちよつと足
貸してもらおうよ

……っ

こんな格好
恥ずかしくて
死ぬ……!!

てかマジで？
オレでできる？

もう一度
確認するけど
本当に
いいのか……？

うっせーなっ
やりたくねえなら

ひっ

スリッ

塔矢：本当に
オレなんか
感じてるのか？

しんどう、

ぐっ
ぐっ
ぐっ

しゅっ

しゅっ



??

塔矢の…
たまの下に
当たった時

すげー感じる…
なんで??こんな
知らねえ…



アキ

やあ

アキ



進藤も…
感じてる?

ちっ
ちがう



あ

アキ



なんで…!!
こんなつもりじゃ…

進藤…っ

ん…っ

塔矢を気持ち
よくしたい
だけなのに…



後ろ向いて
キミの顔が
見たい

え、
やだ…



こすられて
どんどん気持ち
よくなってる

んあ

あっ

オレが感じて
どうすんだ…!



進藤…
いやらしい顔
してる

おまえに
言われたくねえよ!
童貞のくせに
さっさといけば?



…わかった
そのまま膝を
抱いてみて

え…どう?

そう
太腿もつと締めて

良く出来る
凄いねキミ
体柔らかいんだ

言い方
エツロ〜



うわ…
塔矢のチンコまた
デカくなってる

萎えてない…
ちやんとオレで
勃ってるよな

あッ



進藤…
かわいい

アキユ

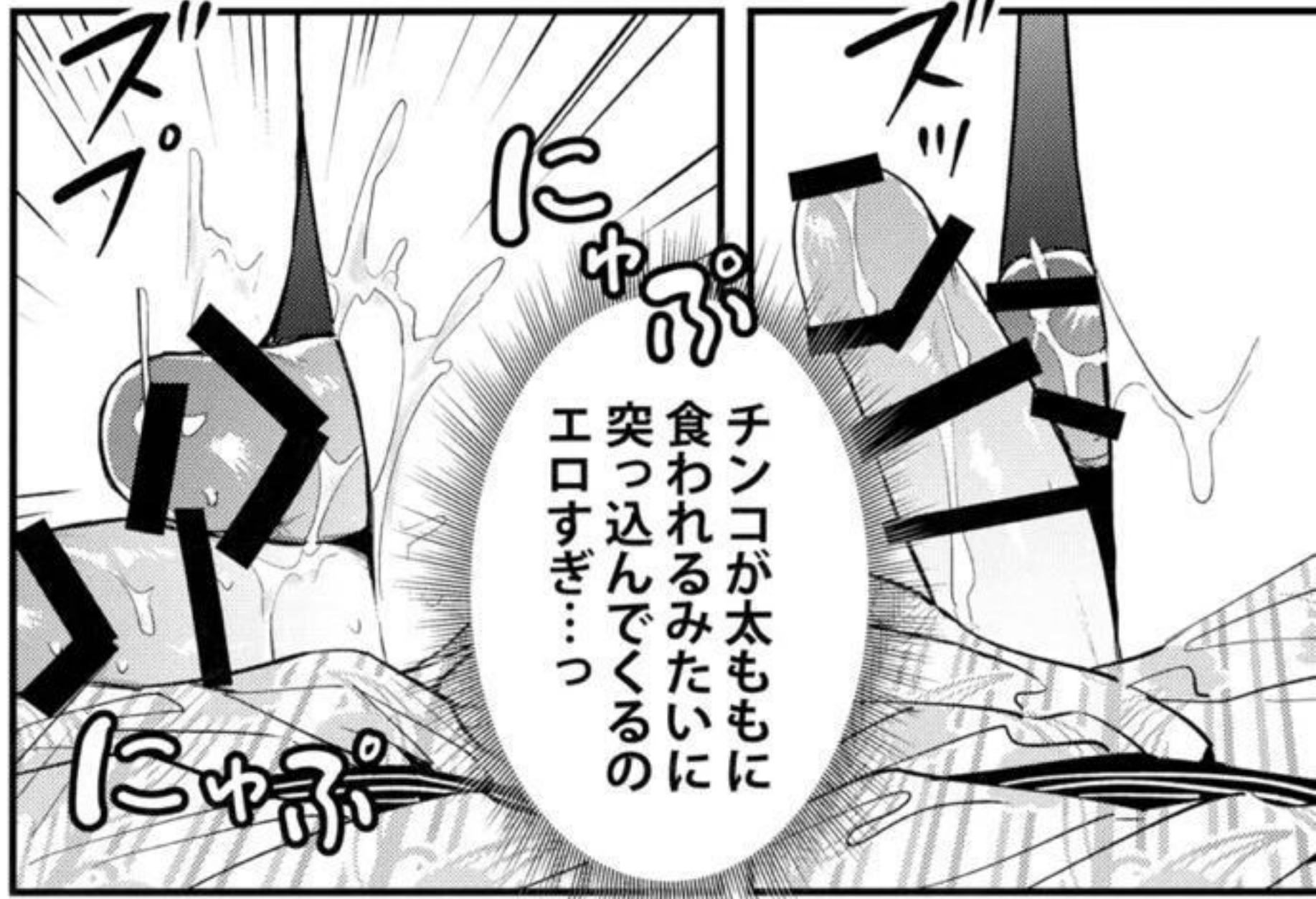
音エロ

とうやの顔
もつとエロ



裏筋がこすられるのも
塔矢のキスも
全部気持ちいい…

初めてなのに
なんでこんなに
上手なんだ!?!
このままじゃ…



にゅっ

チンコが太ももに
食われるみたい
に突っ込んでくるの
エロすぎ…っ

にゅっ



んん〜

やばい
もうイクっ

びゅっ



進藤...?
どうした?



えっ
もしかして
もういった...?

.....



ごめん...ボクが悪かった!
キミの気持ちを全然考えず
自分だけ...

...違う
そうじゃねえ
オレは...

お、おまえの前では
絶対カッコ付けよって
決めてたのに...

デートの時
おまえにかっこいい
って褒められたから……
オレ一生懸命だった

もしカッコ悪い
とこ見られたら
もうおまえに
嫌われるって……

でもオレ：おまえに
生理的に無理じゃねえ
ことを証明しろとか

気持ち良くなって
みるとか
散々言ったのに
全然できなくて

そのうえ自分だけ
いっちゃって：情けねえ
もうカッコ悪すぎて
死にてえよオレ：

キミは格好良くて
美しくて
誰よりもかわいい

進藤
よく聞いて
ボクは一度もキミを
格好悪いと思った
ことはない

やっぱ
オレのこと……
嫌になった？

……
キミっ♡

ボクの愛する人だ
これから
先もずっとね

そしてボクも
キミと触れ合えて
とても気持ち
よかったよ

ずっといって
ねえくせに？

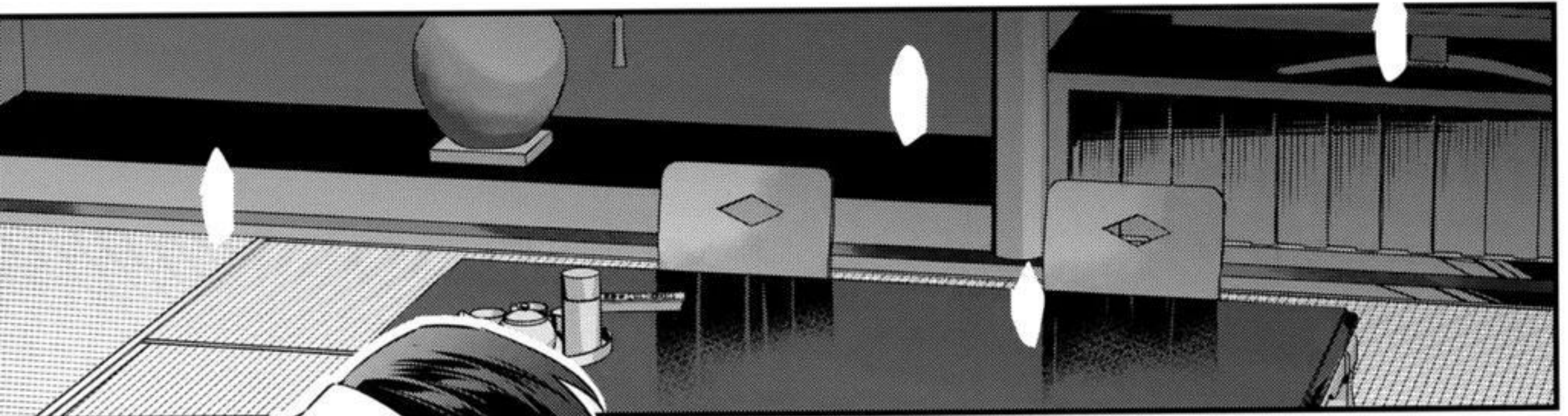
……
それは

……



：わかった
おまえが
そう言うなら：

オレと：
エツチしろよ
：無理とは
言わねえよな



萎えないうちに入れるぞ
うまくいかなかったら
かんべんな：

男の体がいやなら
目を瞑っていいから

待って、進藤
今は：



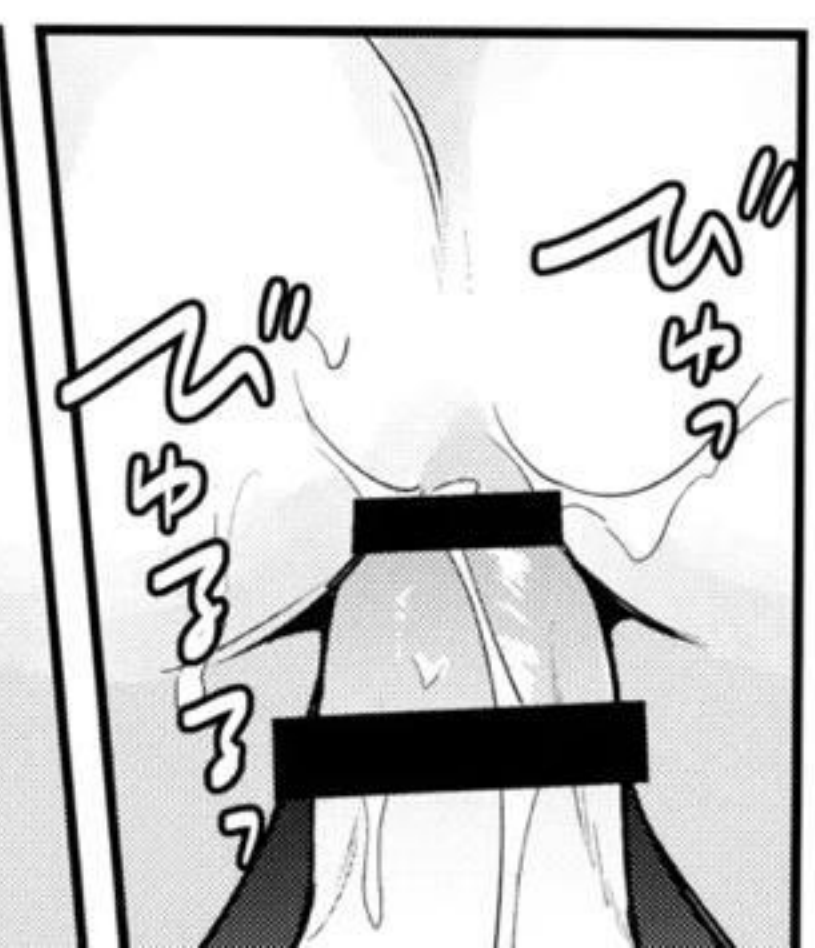
んん：

これでいいかな
わかんねえ：



進藤
やつぱりボクが
手伝った方が：

大丈夫だ
オレがしろって
言ったんだから：







お互いに
気遣いすぎた
ってことか
らしくねえな

進藤



さっきだってボクは
もう三回くらいで
出すところだったぞ！

人の苦勞を
知らないで
キミは……！！

そ、そうなんだ……
おつかれさま……？

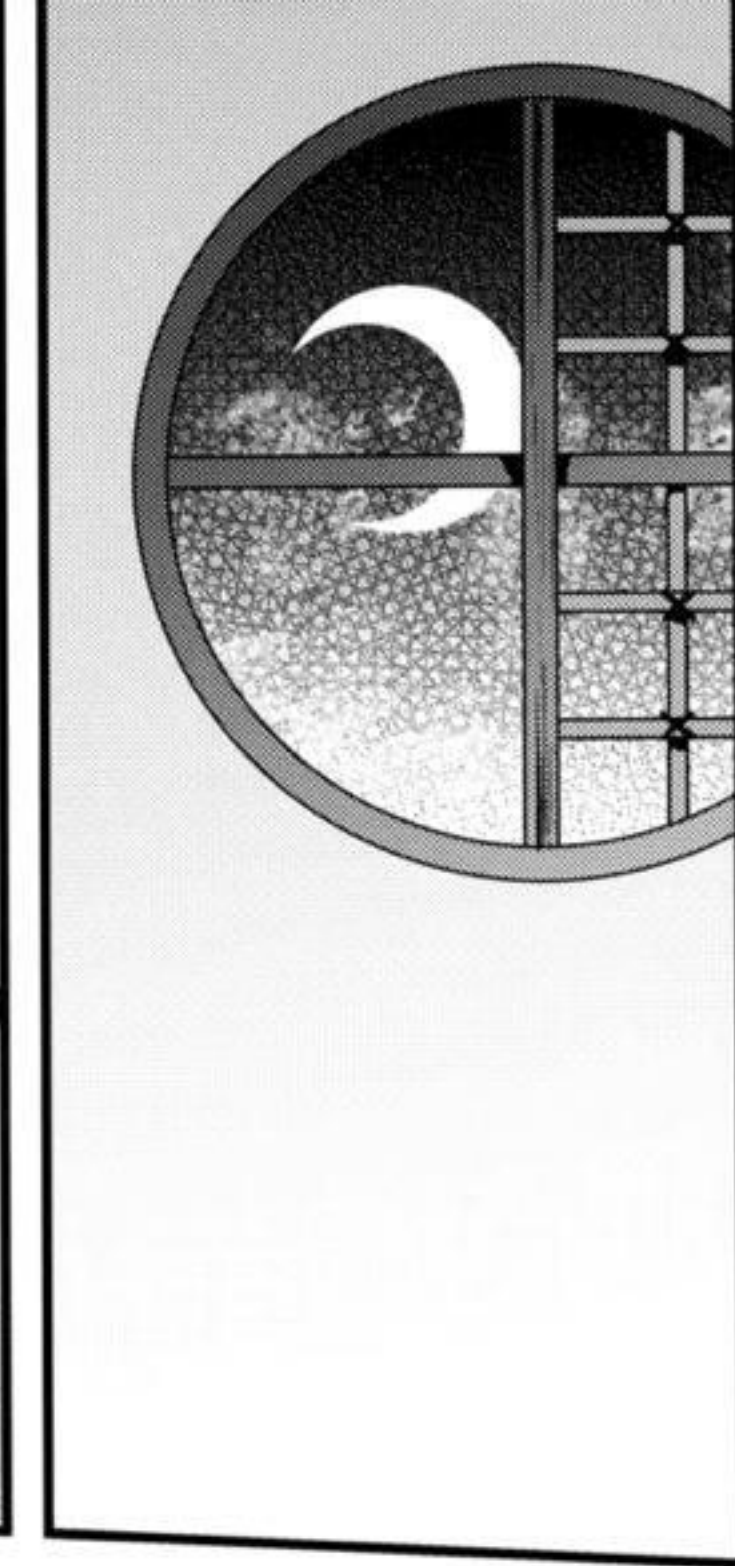


はは
ひどい顔

オレが惚れる男は
こんな程度
じゃねえんだろ

もっと
証明してみろよ

……ぐっ！







塔矢
おはよ!



おはよう
進藤

今日のキミも
格好良いね

そるか?
オレに
惚れ直した?

もうこれ以上
惚れたら困る
くらいだよ



オレの彼氏も

世界一
カッコイイぜ

今夜
花火大会があるよ

本当？
おまえよく
調べたな

当然
何度でもキミに
見せてあげるって
言っただろ

「再び幸せが訪れる」



「夜半の夏に咲く鈴蘭」後編・完



本文の流れに合わなくて没にしたセリフです。

後編 夜半の夏に咲く鈴蘭

ADULT ONLY R18 contents include



発行 2022.4.2
 発行人 n.S.k.k / 魂



このアキヒカは相当なバカカップルになるな...。お幸せに。



あとがき



最後まで読んでいただきありがとうございます。まとめ本ですが、初めて会った読者も、また会った読者も、この物語を楽しんでいただけると嬉しいです。後編の「鈴蘭」が発行したあと、なんと、もう1年以上経っているの未だに信じられません…。なにもしてないのにただ時間が流れていく感じでした。それでも、この本はちゃんとうまれてきて、みんなの手に届くことができ、とても感心です。いつも助けてくれてるななろくさんとキキさんに大きな感謝です！ラブです♥

今回のタイトルもキキさんがつけてくれました！前後編のキーワードとシナリオをまとめだけではなく、その上に優美な詩のようになっていて、すごく嬉しいです。（言葉美しすぎて私の貧しい日本語で読みませんくらい）そのお陰で、最高な表紙絵もできていました。実は夜景は全く描けませんので、前後編の表紙がいっぱいがんばってもうまくいきませんでした。今回のまとめ絵は一段違うと思います。自分の成長を感じるってのはこのことかな？とても気に入ります。表紙には新しいマテリアルを使用して絵の効果を表現したいが、うまくいきますかなとドキドキしてます。

花火大会のご来場もありがとうございました！久しぶりにピクスイベントやったがやっぱり楽しいです。突然に決めたことだけど、沢山来てくれて嬉しいしです！シナリオにあわせてマップとミニキャラをつくるのも本当におもしろかった！次回はまた季節や本のテーマに合わせてWebイベントやりたいと思います。今年は本当に本当に踊るようにずっと忙しくてあまりアキヒカ活動できなかったけれど、やっぱりアキヒカは最高です。描いているたびに心が癒されます。これからもずっと、一生愛してます。

魂

発行 2023.8.12
発行人 n.S.k.k / 魂
印刷 AXIS
mail kon_ah@yeah.net
twitter X @emilliomagnus

転載・転売・フリマ・オク出品は
禁止しています。

花火うつろひ
横を見れば
汝ねと鈴蘭
咲き匂ふ

HIKAGO fanbook vol.5 AKIRA×HIKARU
presented by n.S.k.k / kon 2023.8.12

